



2017年中国インターネット著作権保護年度報告 (簡略版)

委託側：国家版權局

受託側：中国情報通信研究院

【要約】2017年は、国家の「十三五」計画の実施を全面的に実現する、過去を引き受けて未来につなぐ最も重要な年である。中国共産党の十九大の報告は、イノベーション文化を提唱し、知的財産の創造、保護、活用を強化することを明確に提出し、著作権事業の発展のために方向性を示した。同時に、インターネットの「破壊的イノベーション」も著作権コンテンツの創作、伝達及び保護方法に影響を与えつつある。イノベーションと変革に促進され、インターネット著作権保護の各業務は大きく進展し、インターネット著作権保護の新態勢が形成された。各種の新型著作権保護問題もインターネット著作権保護業務に一定の挑戦をもたらした。本報告は、インターネット著作権の立法保護、司法保護、社会保護及び行政保護など多くの面から、社会の各界に2017年我が国のインターネット著作権保護状況を公開し、著作権環境の浄化、科学技術進歩や文化繁栄の促進に対するインターネット著作権保護の重要な役割を説明する。

一、2017年中国インターネット著作権保護の主な進展

(一) 2017年中国インターネット著作権保護は新たなチャンスを迎えた

2017年、中国共産党の十九大が成功裏に開かれた。十九大の報告は、新時代における著作権を含む知的財産権業務の全体的基本思想を確定し、新時代における著作権業務のために方向性を示した。知的財産権「十三五」計画は初めて国家重点的特別計画に組み込まれ、党及び国家業務における著作権業務の位置付けが一層高くなった。国家は権利侵害海賊版行為に対する取り締まりを引き続き強化し、著作権環境を引き続き改善し、インターネット著作権保護業務は新しい発展チャンスを迎えた。

1. 中国共産党の十九大の重要な戦略的配置は、新時代のインターネット著作権保護業務のために新しいより高い要求を提出した

中国共産党の十九大の報告は、「イノベーションは発展を牽引する第一の動力であり、現代化経済体系を建設する戦略的支援である」、「イノベーション文化を提唱し、知的財産の創造、保護、活用を強化すべきである」、「全民族文化イノベーション創出活力を引き起こし、社会主義文化強国を建設する」と示した。著作権は文化及びイノベーションと必然的な関係を持っており、著作権制度はイノベーション激励、創出繁栄に非常に重要な役割を果たす。著作権保護の強化は、我が国のイノベーション型国家の急速的な建設、「文化大国」から「文化強国」への転換を促進する要である。現在のインターネット環境では、インターネット著作権保護の強化がもっと重要になってくる。中国共産党の十九大は、著作権を含む知的財産権業務のために発展の全体的基本思想を確定し、著作権業務は新しい発展情勢に直面し、インターネット著作権保護強化業務は新時代の著作権業務の必須要件と重要内容となっている。

2. 知的財産権は初めて国家重点的特別計画に組み込まれ、著作権の戦略的地位は高まりつつある

2017年1月、国務院は「『十三五』国家知的財産権保護及び活用計画」を発行した。これは、著作権業務を含む知的財産権計画を初めて国家重点的特別計画（以下「計画」という）に組み込み、著作権を含む知的財産権業務地位の更なる向上に対して重要な役割を有する。「計画」は、立法の面で改訂により知的財産権法律、法規及び部門制度を完全なものにし、法執行の面で「双軌制」の保護を強化して、行政及び司法保護の2ルートが有機的にリンクする保護モデルを改善すると同時に、社会的共同管理を全面的に強化すると示した。1月25日、国家版權局は「著作権業務『十三五』計画」を発行し、「十三五」期間の著作権業務を全面的に配置し、著作権業務の発展目標及び重要任務を明確にし、「十三五」期間の著作権業務のためにトップダウン設計を強化し、発展の基礎を固めた。

3. 権利侵害海賊版行為に対する取り締まりを強化しつつ、インターネット著作権保護環境を引き続き改善した

経済新常态を背景に、国家は厳格な知的財産権保護制度を実行して、新興分野における知的財産権侵害違法行為に対する懲罰を強化した。習近平総書記は中央財經指導小組第16回会議で、新興分野及び業態における知的財産権保護制度の建設を加速化し、知的財産権侵害違法行為の懲罰を強化しなければならないと示した。2017年

1月、中共中央弁公庁、国務院弁公庁は「モバイルインターネットの健全で秩序ある発展を促進することに関する意見」を発行し、インターネットサービス秩序を規範化し、権利侵害代償及び違法コストを大幅に引き上げ、権利侵害行為を効果的に抑制しなければならないと示した。2017年6月、国務院知的財産権戦略実施業務部間聯席會議弁公室は「2017年国家知的財産権戦略実施の深化と知的財産権強国建設の加速化の推進計画」を発行して、インターネット権利侵害海賊版の取り締りを強化し、新型インターネット権利侵害海賊版行為に対する効果的な取り締まりモデルを模索するなど具体的な業務措置を示した。国家版權局は国家インターネット情報弁公室、公安部、工業・情報化部と共同でインターネット権利侵害海賊版を取り締まる「劍網2017」特別行動を引き続き展開し、重大・重要案件を厳しく調査処理して、インターネット著作権保護環境を引き続き改善した。

(二) 2017年中国インターネット著作権保護は、著作権産業の新しい発展の実現を促進した

2017年、インターネット著作権保護の継続的な強化に伴って、中国のインターネット著作権市場は、フロー経済からコンテンツ経済へと構造的変換を成し遂げた。人工知能、クラウドコンピューティング、ビッグデータなどの新技術と、インターネットのアグリゲーションなどのビジネスモデルが発展しつつあり、知能言語、ネットライブ配信、eスポーツなど新型業態の発展が活躍し、デジタル文化クリエイティブ・コンテンツを基礎とするインターネット著作権産業が、活発な動きを示している。

1. デジタル経済は我が国の経済成長の重要な駆動力となり、中核の著作権産業の急速な発展を促進する

2017年、中国デジタル経済は高速発展段階に入り、GDPへの寄与度が69.9%¹に達した。データを主要要素とするデジタル経済の全面的な構築により、作品のデジタル化が拡張し、ニュース出版、ラジオ・映画・テレビ、アニメーション・ゲームなどの中核となる著作権産業とインターネット技術との融合発展²が加速化し、人工知能技術が文芸創作分野に使用されるようになった。デジタル経済は我が国の経済、文化発展の促進に対して重要な支援作用を果たした。中国新聞出版研究院の「中国著作権産業経済貢献」の調査研究データによると、2016年著作権産業の我が国のGDPに占める割合が7.33%に達し、うち、中核的著作権産業が占める割合がGDPの4.58%に達し、著作権産業全体に占める割合が62%に達し、年間平均成長率が13.4%であった。改善されつつある著作権保護体系は、中核的著作権産業の急速な発展のために、基本的な保障を与えた。

2. メディアの深い融合が重要段階に入り、高品質の作品がコンテンツ産業の中核的な競争力となった

2017年、我が国のメディアの融合発展が最も重要な時期に入り、伝統メディアと新興メディアは互いに「加える」の関係から「融合する」関係へと発展し、メインメディアが継続して力を発揮し、コンテンツ生産性が顕著に向上した。高品質作品が

¹ データ出典：『2017中国デジタル経済発展白書』

² うち、映画チケット販売額は559億元を突破し、『戦狼2』が56.8億元で単独トップを占め、ゲーム業界全体の営業利益は約2189.6億元で、前年比23.1%増となった。

コンテンツ産業を発展させる中核的な競争力となり、同質化が明らかでユーザーの粘着性が不十分な多くの新メディアは、市場により徐々に淘汰されている。著作権監督管理政策の細分化や改善に伴って、メディア業界生態共同体が効果的に浄化され、メディア著作権を保護、管理及び運営する新秩序が初歩的に形成された。

3. シェアリングエコノミーは、コンテンツ産業の新モデル、新領域、新プラットフォームの成長と発展を促進し、高品質コンテンツの配信・伝達を加速した

消費コンテンツのグレードアップ、支払い意思の増強、需給主体の育成など複数の要素の影響を受け、2017年、シェアリングエコノミーは有料知識、ネットライブ配信、モバイルオーディオなどの領域で持続的に成長し、ビジネスモデルが多様化³し、国内知識共有市場は一定の規模を持つようになった。知識を共有することにより伝統的な出版とインターネットとの融合が加速化され、多くの高品質コンテンツが知識共有プラットフォームを介して伝達、配信されている一方、膨大な匿名した不法伝達によるインターネット著作権保護問題も誘発された。

(三) 2017年中国インターネット著作権保護は新しい成果を取得した

1. 立法保護の面で、関連部門は著作権法改訂を積極的に推進し、関連法律、法規、制度を公布し、著作権法律体系が日増しに改善された

著作権法の改訂を推進する面で、全国人大常務委員会は「著作権法」実施以来の最大規模の法執行検査を展開し、検査報告には著作権法を急いで改訂することが提案され、著作権法改訂の推進に重要な意義を持つ。国務院法制弁公室は「著作権法改訂草案（審査用草案）」に対し関連分野において意見を求め、著作権法の改訂が新時代、新情勢の著作権業務のニーズに適応するように努力した。法律実施の面で、「映画産業促進法」を全面的に実施し、「黄金時代」の中国映画産業の著作権保護のために法律的保障を強化した。2017年6月に実施した「インターネット安全法」はインターネット技術の知的財産権を保護しなければならないと明確に規定した。監督管理の面で、国家インターネット情報弁公室は相次いで「インターネットニュース情報サービス管理規定」、「インターネットユーザーアカウント情報サービス管理規定」を公布して、インターネット情報サービス提供者のコンテンツ安全及び著作権などの面における主体責任を明確にした。国家版權局は「北京2022年冬季オリンピックエンブレム及び冬季パラリンピックエンブレム著作権に対する特別保護業務を展開することに関する通知」を發表し、エンブレム著作権を保護すると明確にした。

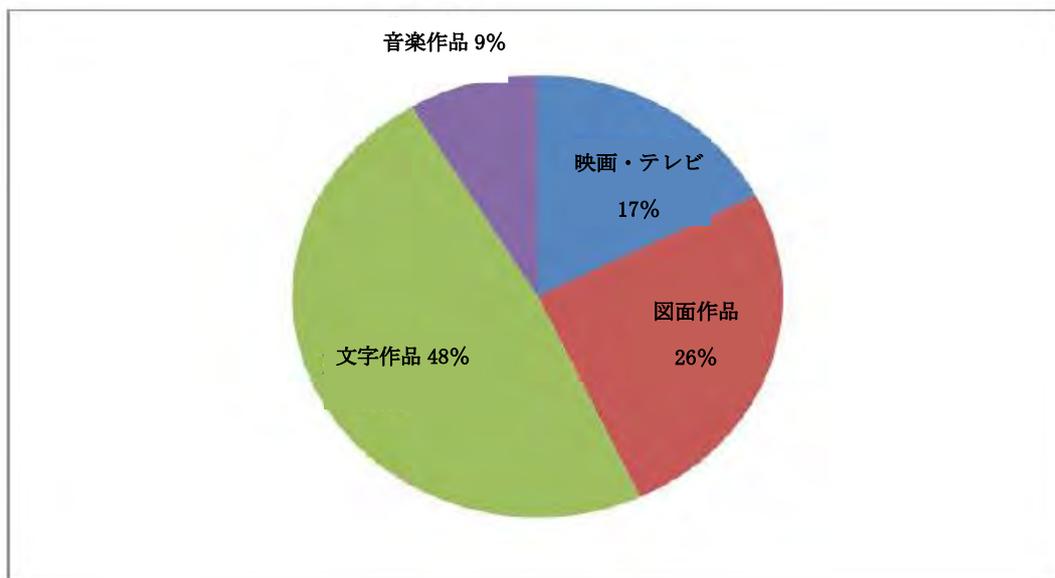
2. 司法保護の面で、司法機関は権利侵害蔓延を抑制する効果的な措置を積極的に模索し、インターネット著作権侵害紛争における賠償金額を引き上げた

2017年、インターネット著作権の司法保護は日増しに強化され、主に以下の特徴が現れた。1、ほぼ半分がインターネット文字領域の案件で、インターネットコンテンツ産業各領域の案件の分布の変化が大きい（図1参照）。2、PC端末ウェブサイトを紹介した権利侵害案件の数が大幅に増加し、これは権利侵害問題が最も深刻な領域である（図2参照）。3、インターネット著作権侵害案件の地域分布は引き続き相対的に集中した態勢を示している（図3参照）。4、司法審判における原告の賠償請

³ 『中国共有經濟發展報告2017』の統計データによれば、初歩的な計算を経て、2016年国内知識技能領域市場取引金額は約610億元で、前年比205%増となっている。

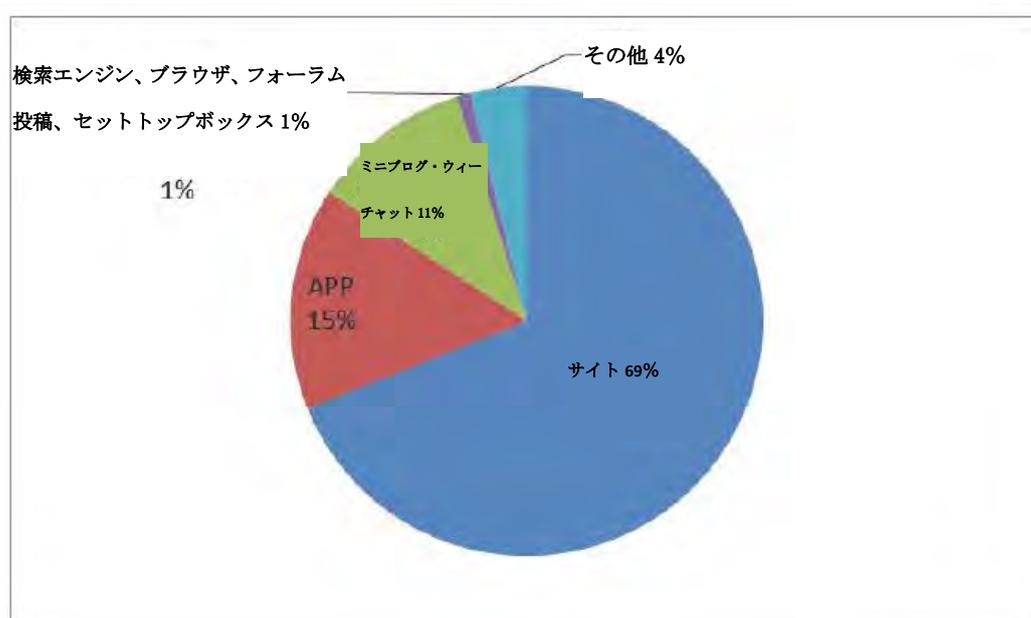
求の支持率が高く、インターネット著作権侵害紛争における賠償金額が高くなった（図4参照）。一部関心度の高い案件（例えば、騰訊社が暴風社を相手取って訴えた「中国好声音（第三期）」海賊版放送案件など）は賠償金額が法定賠償限度額を超え、後続の案件に対して積極的な模範効果を果たした。なお、インターネットゲームは、2017年インターネット著作権刑事訴訟案件の多発する分野となった。

図1 2017年インターネット著作権侵害案件作品類型分布状況



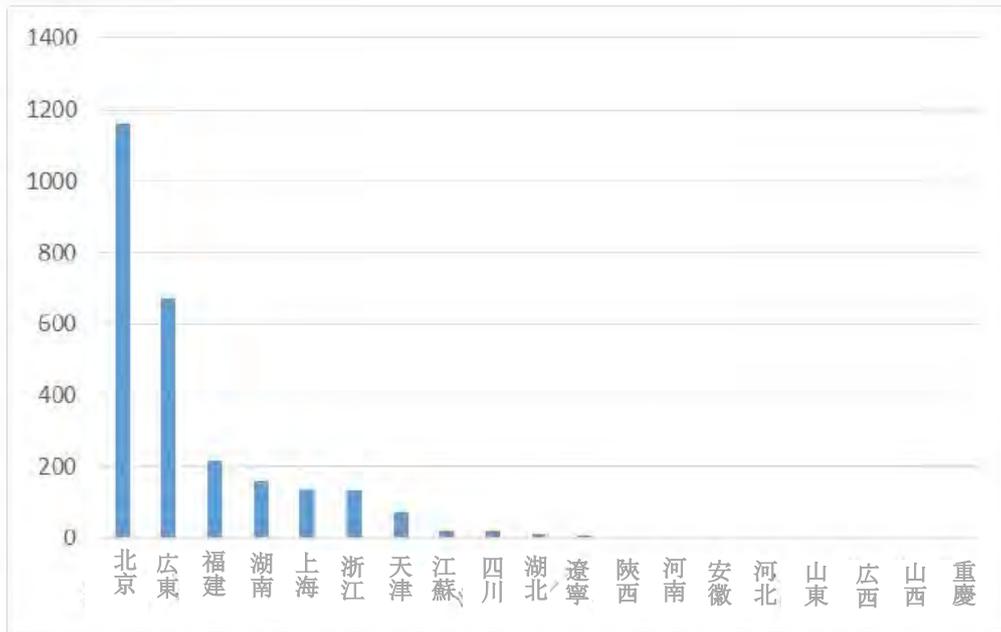
データ出典：中国情報通信研究院

図2 2017年インターネット著作権侵害案件伝達ルート分布状況



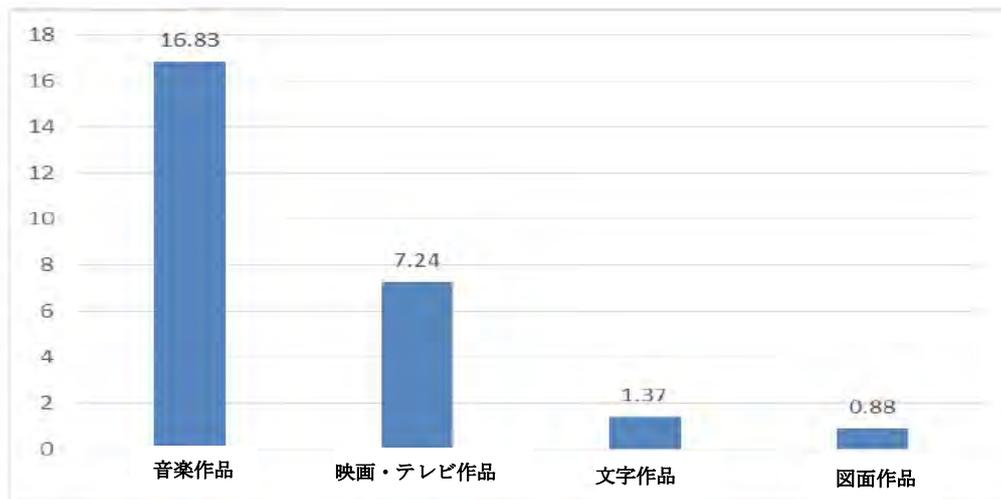
データ出典：中国情報通信研究院

図3 2017年インターネット著作権侵害案件地域分布状況



データ出典：中国情報通信研究院

図4 2017年インターネット著作権各権利侵害案件の平均賠償金額



データ出典：中国情報通信研究院

3. 社会保護の面で、著作権関連機構は作品創作、保護、活用などの面で積極的な役割を發揮し、インターネット著作権の社会保護業務は一層深化された

作品創作の面で、著作権集団管理組織は組織権利維持座談会、研究会などの形式によって、新技術の背景下で作者のオリジナル作品創作意欲を如何に効果的に激励し、作品の品質を向上させるかを積極的に模索した。作品保護の面で、文字著作権協会、

音楽著作権協会が咪咕（m i g u）、知網を相手取って訴える案件などは社会に大きな反響を呼んだ。技術的手段はメディアプラットフォームからの権利侵害の検出や判定に幅広く使用され、各大手プラットフォームは自らオリジナル保護措置を相次いで打ち出した。中国「インターネット文学+」大会において、多くの企業及び作家代表は盗作模倣への反対を提唱し、自発的に権利侵害海賊版を抑制した。著作権取引と協力の面で、著作権図面開放プラットフォームは需給双方に精確にリンクし、著作権協力Win-Winモデルの構築を加速化した。ブロックチェーン技術もオリジナルコンテンツ取引プラットフォームに使用されるようになった。著作権資産運用の面では、成立を検討されている北京著作権銀行は著作権の質権設定などによるローン発行を模索し、文化クレジットモデルを革新した。

4. 行政保護の面で、業務重点を突出させ、業務方法を革新し、インターネット著作権法執行監督管理業務の影響面及び影響力を引き続き拡大させた

国家版權局をリーダーとする関係者の共同努力の元で、2017年インターネット著作権行政保護は主に以下の特徴を示した。1、厳しく保護することが、2017年インターネット著作権行政法執行監督管理の基本指向となっている。過去に比べて、「劍網2017」特別行動が立件調査及び行政処理した案件の数はいずれも安定的に上昇し（図5参照）、6万3,000のウェブサイトを検査し、2554の権利侵害海賊版ウェブサイトを開鎖し、71万の権利侵害海賊版リンクを遮断し、276万点の権利侵害海賊版製品を押収し、543のインターネット権利侵害海賊版案件を立件調査し、57の刑事案件を公安部門と共同摘発して、係争金額は延べ1億700万元であった。調査処理した重大・重要案件の件数と処分結果は前例のないほどであった。重点的に監督管理する領域及び特別取締まりを行う領域は、点から面へと拡大し、深化しつつある。2、監督管理モデルを革新し、制度と技術手段を同等に重視した。新技術の条件下で生じた新しい著作権問題を即時に解決した。2017年にVR、ウィーチャットアカウント、無断転載リンク集約などの新興技術による作品違法提供行為に直ちに気づき、効果的に処理した。重要なインターネット音楽サービスプロバイダと会談し、インターネット音楽作品に対し全面的に使用許可を取得するよう要求し、良好なインターネット音楽著作権許諾及び運営モデルの成立を指導した。3、著作権法執行の協力を強化し、社会共同管理を促進した。著作権の行政法執行と刑事司法の「両法リンク」メカニズムを一層改善し、国家版權局は公安部、高級法院、高級檢察院と協力し、多数の重大な権利侵害海賊版案件を監督処理し、権利者組織との協力を強化し、大衆の権利侵害海賊版に対するクレーム通報ルートを円滑にし、会談や期間限定是正などによってインターネット企業主体の責任実行を促進し、政府の監督管理、企業の自己管理、業界の自律、大衆監督が結合されたインターネット著作権保護の社会共同管理の新局面を形成した。

図5 2016-2017年剣網行動が調査処理した案件数の比較



データ出典：国家版權局

二、2017年中国インターネット著作権保護の基本特徴

(一) 厳しい保護を行うとともに、著作権の創作及び活用がインターネット著作権業務の重要な着眼点と注力点になるようにする

「十三五」期間中、厳しい著作権保護の実施は、インターネット著作権保護業務の基本原則である。そのうえに、法律、経済、技術など複数の手段によって創作意欲を激励し、著作権の創作と活用が2017年インターネット著作権業務の着眼点となるようにする。「『十三五』国家知的財産権保護及び活用計画」と「著作権業務『十三五』計画」ではいずれも厳しい知的財産権保護が知的財産権の活用を促進するためのものであり、著作権保護を著作権業務の重要位置に位置付けるとともに、著作権産業の良好で快速な発展局面を形成しなければならないと示した。関連政策文書の指導の下で、そして著作権保護業務の促進により、新業態、新領域における著作権運営は量から質への変化を実現し、IP⁴市場はブレイク期から合理的成長期に入り、コンテンツ品質、ブランド影響力及び商業価値などはいずれもIP価値を量る重要な要素となり、著作権の創作と活用は次第に健全な発展段階に入った。

(二) インターネット著作権保護は我が国のインターネット著作権産業の秩序ある発展を促進し、良好なインターネット著作権共同体環境は次第に形成されている

長期間の統制と管理を経て、著作権に対する社会全体の意識が次第に向上し、創作者、著作権者、情報配信プラットフォーム、ユーザー、ファンの間で有機的な生態系が次第に構成され、著作権利益の分配など一連の産業問題も共同体の協力を得ながら解決され、協力とWin-Winモデルが、デジタルコンテンツ産業の発展動向となっている。インターネット著作権市場の秩序ある発展につれ、正規版化は業界の共通認識となり、「IP」は資本競争の手段からその権利本質に回帰し、如何に著作権を

⁴ IP：「Intellectual Property」の省略、意味は「知的財産権」である。近年来、産業界はオールエンターテインメント産業チェーンにおいて高い人気度と高い市場価値のある文学、アニメ、映画・テレビ、音楽、ゲーム、バラエティー番組などの作品をIPと呼ぶ。

より規範化し、より効果的に適用するかは新しい注目点となり、著作権資産に対する産業の資本化模索も産業共同体の継続的な発展の中で重要な役割を發揮しており、比較的良好的なインターネット著作権共同体が次第に形成されている。

(三) インターネット著作権保護は、理念の革新、制度の革新、方法の革新を堅持し、保護手段はより現実的で効果的である

2017年、インターネット著作権保護は多くの面からインターネット技術環境の伝達規則に則ったガバナンス方法を模索した。制度プランの面で、インターネット環境の中で著作権保護制度及び政策を次第に細分化、完全化し、インターネット主体の責任、権利、利益の関係を調和、規範化した。行政監督管理の面で、監督管理部門は業務手段及び管理モデルを革新し、法執行監督管理の有効性が次第に増強された。司法実践の面で、新型案件に対する司法機関の審査処理は産業実践のためにガイドラインや判定基準を提供し、インターネット裁判所建設の推進は司法システムのイノベーション措置となった。技術保護の面で、国家著作権監督管理プラットフォーム、企業の技術的措置など、著作権保護理念を技術開発プランに取り入れ、技術構造及び技術投資によって、権利侵害海賊版の取り締まり及び権利者の予防的保護の効果を高めた。商業モデルの面で、プラットフォーム側は著作権補償メカニズム、イノベーション分配及び支払いメカニズムを模索し、原作者と著作権利益を共有した。インターネット思考は、著作権環境のガバナンス及び保護の中に広範に使用されており、インターネット著作権保護問題の解決のために新しい考えを提示した。

(四) インターネット著作権侵害の重点となる領域のガバナンス業務成果は著しく、インターネット著作権秩序は日増しに規範化されている

2017年、国家版權局は映画・テレビ、ニュース、アプリ、電子商取引プラットフォームなどインターネット著作権侵害の重点となる領域に焦点を当てて、著作権調査処分業務を展開した。インターネット映画・テレビの面で、国家版權局は、12回に分けて202部の重要作品に対して著作権保護早期警告リストを公表し、「戦狼2」、「芳華」など国産優秀映画に対して特別保護を行い、映画・テレビ作品における権利侵害海賊版氾濫の態勢をほぼ抑制した。インターネットニュースの面で、中央ニュース部門の「中国ニュースメディア著作権保護連盟」の発足成立を促進し、伝統的なメディアと商業ウェブサイトの著作権協力の展開を指導し、インターネットにおける転載許諾・支払いメカニズムを完備化した。アプリの面で、人気の文学・映画・テレビ作品を以って命名したアプリに対する著作権許可審査を強化し、アグリゲーションや破壊技術措置などの方法によって行った権利侵害海賊版行為を重点的に調査した。電子商取引プラットフォームの面で、主要な電子商取引プラットフォームを監督管理対象に入れるとともに、その主体的責任を明確にした。インターネット著作権侵害の重点となる領域に対する分類、ガバナンスによって、インターネット著作権秩序は著しく改善され、次第に規範化された。

三、2017年中国インターネット著作権保護における多くの挑戦

2017年、保護と開放との間のバランスは依然としてインターネット著作権発展の重要課題である。技術開放の大勢の下で、益々多くの市場主体がインターネット著

著作権市場に参加してきた。自由取引、市場秩序保護を確保しながら如何にイノベーション意欲を呼び起こし、文化の発展繁栄を推進するかは、インターネット著作権保護業務が直面する共通のチャレンジとなった。

(一) 新メディア、新業態の連続的な登場は、インターネット著作権案件の法執行難易度を引き上げた

技術の発展及び商業モデルの進化に伴って、新型権利侵害形態が数え切れないほど多く現れ、インターネット著作権法執行に非常に大きな困難をもたらした。オンラインストレージ権利侵害を例にすると、権利侵害エントランス、プレイヤー、コンテンツストレージはそれぞれ異なる主体から提供され、現在の著作権法律体系によれば責任追跡が極めて困難である。新しい技術、新しい手段を十分使用し、監督管理の精度や有効性を向上させ、行政機関と司法機関との連携を強化し、インターネット著作権保護の司法、行政リンクプラットフォームを構築し、訴訟権保護と行政法執行との効果的なマッチングを実現することで、著作権保護の難題を解消することができる。

(二) 「独占許諾」争議は広範な注目を集め、インターネット著作権市場は健全な競争メカニズムを確立しなければならない

「コンテンツが王様」の発展法則の元で、高品質作品資源に対する中核的な制御がインターネットプラットフォーム競争の要となった。高品質コンテンツ著作権に対する独占はユーザーのコンテンツ取得の利便性に影響を与えることがあり、コンテンツサービス市場の健全な競争にとってよくない。この現象はインターネット音楽市場において特に顕著である。国家版權局は、主要なインターネット音楽サービスプロバイダ及び国内外音楽会社と会談を行って、相互許諾を促進し、インターネット音楽著作権秩序を多く改善したにもかかわらず、「独占許諾」問題はいまだに完全に解決されておらず、一定の範囲内に存在している。市場はサービス品質に基づいた平等な競争を主張し、創作者にあるべき著作権収益を取得させるだけでなく、作品に対するユーザーの平等な使用権及び作品そのものの正常な伝達を確保しなければならない。

(三) 業界自律と内部管理に脆弱な部分があり、インターネット著作権の社会保護は引き続き強化しなければならない

著作権集団管理組織及び各級の著作権機構は著作権者、関連権利者と作品使用者との懸け橋であり、作品の適法な伝達及び使用に対してかけがえのない重要な役割を有する。同じ種類の組織の市場競争が少ないために、現在一部の著作権集団管理組織は、分配メカニズムが不透明であり、交渉力が低く、許可方法に柔軟性が欠けるといった問題が存在し、インターネット環境における膨大な数の作品の許諾使用、報酬の受領分配のニーズに適応することができない。サービスをさらに規範化し、新しい技術環境の下で市場化、規模化された著作権許諾取引メカニズムを模索し、集団管理料金モデルを完備化することが急務となっている。一方、その他の著作権関連機構は無力で、影響力が弱く、効果が明らかでないといった問題が一般的に存在し、インターネット著作権の社会保護は依然として大きく強化する必要がある。

(四) インターネット経済の背景下で、オリジナル作品に対する著作権保護の考え方を完備化しなければならない

現在、アテンションエコノミーから派生した新型業態がまだ成長段階にあり、オリ

オリジナル作品の著作権保護度合いや方法を技術の発展に如何に適応させるかは模索中である。一部のオリジナル作品保護メカニズムはプラットフォームを跨った使用ができず、オリジナル作品に対する保護の考えはほとんど「提訴されたら賠償」、「起訴されたら罰金」の段階に留まっている。これは著作権法の伝達を励む趣旨に合致しないだけでなく、技術進化動向やシェアリングエコノミーの内含も十分に反映されていない。オリジナル作品の保護思想を早急にグレードアップし、オリジナル作品の保護メカニズムと利益実現の形式を革新完全化し、作品の法的権利の保護と伝達価値の向上との両立モデルを実現しなければならない。

出所：

2018年4月26日付け中華人民共和国国家版權局ウェブサイトを基にJETRO北京事務所で日本語仮訳を作成

<http://www.ncac.gov.cn/chinacopyright/upload/files/2018/4/2692945560.pdf>

※本資料は仮訳の部分を含みます。ジェトロでは情報・データ・解釈などをできる限り正確に記すよう努力しておりますが、本資料で提供した情報などの正確性についてジェトロが保障するものではないことを予めご了承下さい。